

『第1回新製剤技術とエンジニアリングを考える会』プログラム
会場：江戸川区総合区民ホール

2003年7月24日(木)			2003年7月25日(金)		
コーディネーター		岐阜薬科大学 川島嘉明氏/千葉大学 山本恵司氏	コーディネーター		岐阜薬科大学 竹内洋文氏/名城大学 砂田久一氏
	10:00-10:10	開 会 挨拶		10:00-10:10	開 会 挨拶
1	10:10-10:30	川島 嘉明 博士 岐阜薬科大学 教授 『新製剤技術とエンジニアリングを考える会』発足について	1	10:10-11:00	岡田 弘晃 博士 東京薬科大学 薬学部 製剤設計学教室 『創剤の最新動向』
2	10:30-11:20	Mr. Ian Lloyd Pharmaprojects, Managing Director 『製剤開発の世界的傾向』	2	11:00-11:50	岡野 晃司 氏 田辺製薬株式会社 信頼性保証本部 品質統括部 技術管理部 担当主事 『製造委託(外製化)における技術移管と品質保証について』
3	11:20-12:10	寺下 敬次郎 博士 大阪府立大学工学部化学工学科 助教授 『近赤外分光法による造粒物および錠剤の含量均一性の評価』		11:50-12:50	昼 食
	12:10-13:10	昼 食	3	12:50-13:40	長谷川 弘和 氏 三共株式会社 課長代理 品質保証部 QAグループ /IT推進部 『Part11への対応』
4	13:10-14:00	Dr. Tony Margetts Astra Zeneca, International Project Manager 『21CFR Part11 最近の実績と実用的な解釈ならびに事例』	4	13:40-14:30	夏山 晋 氏 株式会社 パウレック 技術本部 開発G マネジャー 『新開発複合型流動層による薬物原末コーティングおよび微細造粒操作』
5	14:00-14:50	Dr. Guy AS Wingate, GlaxoSmithKline, UK 『GAMP-ガイドライン』 製薬企業におけるコンピューターシステムのバリデーション		14:30-14:50	休 憩
	14:50-15:10	休 憩	5	14:50-15:40	神谷 明良 氏 ファイザー製薬株式会社 名古屋工場 製剤工場 製剤技術室 室長 『グローバル企業の生産戦略』 「Right First Time Manufacturing」
6	15:10-16:00	Dr. Ralph A Blackmer GlaxoSmithKline, USA 『委託製造におけるグローバル戦略とGMP管理』	6	15:40-16:30	槇野 正 博士 武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー ヘルスケア研究所 主席研究員 『シュガーコーティング技術の進歩』